

生誕 110 年 小磯良平の世界

神戸市出身の小磯良平(1903-1988)は、日本近代洋画界を代表する画家の一人です。本年は、小磯良平の生誕110年を迎える年にあたり、これを記念する小磯良平の回顧展を開催することとなりました。

幼い頃より絵を描くことに関心を示した小磯良平は、東京美術学校で油彩画を学び、優れた成績を修めて卒業します。その才能は、在学中に帝展に出品した《T嬢の像》が特選の栄誉に輝いた時から広く注目を集めていました。小磯は、美術学校を卒業した翌年の昭和3年から昭和5年にかけてヨーロッパに遊学し、西洋絵画を実見して多くを学んで帰国、その後およそ60年間の制作活動の中、西洋絵画の伝統を常に意識しながら様々な表現の可能性を迫りました。とくに太平洋戦争直前の昭和16年10月、第4回新文展に出品された《斉唱》は、平和を望んでいた小磯の祈りが表現されたものとして、最も多くの人々に親しまれている作品です。

人物画を得意としていた小磯ですが、静物や風景画にも穏やかで洗練された独自の世界を創り出し、挿絵や版画などの分野においてもまた人々を魅了してきました。

生誕110年を迎えて、代表的な油彩作品をはじめ素描や版画、挿絵等を一堂に集め、小磯良平の画業をご紹介します。



2



3



4

- 1 《リュートを持つ婦人》 1980 年
- 2 《踊り子》 1938 年
武陽会蔵(兵庫県立美術館寄託)
- 3 《音楽》 1954 年
神戸市立小磯記念美術館蔵
- 4 《練習場の子ども達》 1938 年
東京国立近代美術館蔵
- 5 《彼の休息》 1927 年
東京藝術大学蔵
※展示期間:5月21日(火)~6月16日(日)
- 6 《着物の女》 1936 年
神戸市立小磯記念美術館蔵



5



6

関連イベント

講演会「日本洋画史の中の小磯良平」

講師/島田康寛氏(神戸市立小磯記念美術館長)
日時/2013年6月2日(日)午後2時から
場所/多目的スタジオ(入場無料)

ギャラリートーク

講師/当館学芸員
日時/2013年4月28日(日)、5月5日(日)
いずれも午後2時から
場所/企画展示室(企画展チケットが必要です)

美術講座

- 1「神戸のエスプリ:小磯良平と竹中郁」
講師/当館学芸員
日時/2013年5月12日(日)
場所/講義室(入場無料)
- 2「大正・昭和の留学生たち」
講師/当館学芸員
日時/2013年5月26日(日)
場所/講義室(入場無料)

常設展示

- 展示室1
イギリスの油彩画
- 展示室2
季節の移ろい—
夏から秋へ
- 展示室3
戦後の日本美術
- 展示室4
①戦後の日本版画
②小特集—
佐藤潤四郎のスケッチ



郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町大字大谷地130-2
TEL.024-956-2200

【アクセス】
バス/JR郡山駅前5番のりば「美術館経由東部ニュータウン」
「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車/東北道「郡山南IC」磐越道「郡山東IC」より15分
駐車場/130台



この紙はFSC®認証紙です。 紙へリサイクル可



「うた魂」(2008年日本)
「日本中がスタンディングオベーション」北海道の高等学校合唱部の物語。
日時/2013年4月29日(月・祝)午後2時から
場所/多目的スタジオ(入場無料)